

■ 児湯るぴなす支援学校

開催日：令和6年11月22日（金）10時30分～11時20分

受講者：中学部1～3年生 19名

講師：柳田 みより 氏

・ 応募のきっかけ

⇒生徒たちは総合的な学習の時間で学校の周りでも伝承があることをについて学んでおり、より深く学んでほしいと思い応募した。



今回は、テーマを「みやざきに伝わる神話」として、天孫降臨や日向三代の話をメインに進めました。

まずはアニメ「日本のはじまり」を視聴し、その後「ニギの天下り」「サルタビコ」の話を読み聞かせを行いました。

2～3年生は修学旅行で高千穂に行き、高千穂の神話については学習していましたが、新富町でも、神武天皇が東征の途中で湯浴みをした「湯之宮神社」や、突き立てた杖が梅の木となり「座論梅」として残る話に驚いた様子でした。



新田神社の蛇切りはスサノオがヤマタノオロチを退治する出雲神話にまつわるものであり、新富町は日向神話と出雲神話の両方が伝わる素敵な場所なので、県内外で自分の故郷のことを話すとき自信を持ってほしいです。

授業の最後には、柳田氏がアナウンサーであることもあり、ストーリーを使用した発声練習や顔全体を使って行うじゃんけんも行いました。

最初は緊張気味の生徒たちでしたが、最後は皆笑顔で打ち解けた様子でした。

・ 児童の感想

⇒ ・ 神話の話では、いろいろなお話が聞けてうれしかった。

・ 友達と顔じゃんけんをしたのが楽しかった。